

2024 年度 駒沢女子大学
自己点検・評価シート

第4期(評価対象期間:2024 年 4 月～2025 年 3 月)

基準4「教育・学習」、基準5「学生の受け入れ」

内部質保証委員会

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2018 年度の間人総合学群発足時にアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーを策定し、到達目標をルーブリックで示している。2024 年度については既存学類の DP・CP についての変更は行わなかった。毎年度学生に配布する履修ガイドに掲載する他、大学 HP にて公開している。</p> <p>(2) 教育指針に関する検討委員会が作成した「カリキュラムマップ」にもディプロマ・ポリシーに対応したルーブリックを掲載し、各学類（専攻）の学位にふさわしい学習成果となるよう適切に教育活動を行っている。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページ URL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
『履修ガイド 2024 人間総合学群』 p3～9「学群・学類のディプロマ・ポリシー」、p10～12「カリキュラム・ポリシー」、p90「カリキュラムツリー」、p91～111「カリキュラムマップ」				
駒沢女子大学HP「ディプロマ・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html 】 駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及	A

			び学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定。	
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 教育課程の編成方針(カリキュラム・ポリシー)を定め、それに基づいて教育課程を編成している。また、カリキュラムツリーによって授業科目の学びの過程を明示している。シラバスに「科目分類」を掲載し、科目の体系性をナンバリングで示している。配当年次は履修ガイドの「科目一覧」に明記し、「科目分類」に配当年次がわかるようにしている。				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『履修ガイド 2024 人間総合学群』 p1~18「建学の精神・ポリシー」、p90~111「カリキュラムマップ」、p88「科目分類」				
駒沢女子大学HP「カリキュラム・ポリシー」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html 】				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。	(1)	授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。	A
		(2)	ICTを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。	B
		(3)	授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化(単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保)を図る措置。 ・シラバスの作成と活用(学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか)。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。	A

<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>
<p>(1) 授業形態、授業方法はシラバスに明示しており、教務委員によって内容の確認がなされている。また、機体される効果が得られているかについては、2年修了時・4年修了時に実施される「学修到達度の確認」によって確認をおこない、結果を内部質保証委員会に提出している。</p> <p>(2) 2024年度におけるICT利用の遠隔授業は補講(各期2回まで)に限られており、ICT利用が有効な授業科目か否かは考慮されていない。利用が限定的であるため、上記評価は「B」としたが、各科目においては適切に運用されている。なお、本年度の教務委員会において2025年度からICT利用の科目設定(メディア科目)を行うことが検討され、決定した。</p> <p>(3) 英語(教養科目・必修)において学力別クラス編成を行っている。シラバスには授業外の学修時間およびフィードバックの方法等を明記。Google Classroom等を利用しての授業外学修へのフィードバックなどを実施している。</p>
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>
<p>根拠資料名</p>
<p>大学ポータルサイト「シラバス」【https://infok.komajo.ac.jp/uprx/up/bs/bsa001/Bsa00101.xhtml】</p>
<p>「2年終了時・4年終了時の学修到達度の確認報告書」内部質保証委員会提出資料</p>

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続(学生からの不服申立への対応含む)を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	A
		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	A

<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>
<p>(1) 成績評価の方法を「教員ガイド」に示し、各科目の平均GPAを2.0に近づけることを教務委員会で確認し、毎学期のGPAを各教員に通知している。また、学生にはシラバスに「評価の基準と方法」の項目を設けて説明し、授業評価アンケートによって成績評価の基準は明確であったかを学生に問うている。</p> <p>(2) 期間を定めて成績評価に関する質問や意義申し立てを行うことができることを「履修ガイド」で明示している(「成績評価に関する質問票」)。</p> <p>(3) 編入生の既修得単位については学務部長が確認し、教務委員会の承認を得て、適切に単位認定を行っている。</p> <p>(4) (5) 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、大学4年間の流れを定め、適切な責任体制・手続きによって学位授与を行っている。また、4年修了時に学修到達度の確認を行い、学位授与方針に即した学修成</p>

果を得ているかを確認している。
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
大学ポータルサイト「教員ガイド（授業・試験・成績評価編）」 【 https://infok.komajo.ac.jp/uprx/form/index_kyotsu.htm 】
『履修ガイド 2024 人間総合学群』 p 27「13.成績評価」（3）成績評価に関する質問および異議申し立て
教務委員会議事録（編入生の既修得単位一括認定に関して）
『履修ガイド 2024 人間総合学群』 p 21～38「大学4年間の流れ」
「4年修了時の学修到達度の確認」内部質保証委員会提出資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
		(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A
		(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) アセスメント・ポリシーを定め、履修ガイドによって明示している。 (2) ルーブリックを設定し、学修成果を評価する指標を明示している。 (3) 学生自身で学修成果を振り返るため、2年次と4年次に学修成果の確認を行っている。				
【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
『履修ガイド 2024 人間総合学群』 p 15～18「アセスメント・ポリシー（学修成果の評価に関する方針）」				
『履修ガイド 2024 人間総合学群』 p 90～111「カリキュラムマップ」				
「2年終了時・4年終了時の学修成果の確認」内部質保証委員会提出資料				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。	A
		(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	C
		(3)	外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	C
		(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	B
<p>【現状】 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) アセスメント・ポリシーによって点検の基準・体制・方法を定め、入学直後・在学中・卒業次と段階を設定して方針を明示している。</p> <p>(2) 学習成果の測定は現在のところ、授業科目に関連してのみ行われており、資格試験の取得状況・進路状況等の情報は活用していない。</p> <p>(3) 学生による学修成果の確認は行っているが、外部の視点は現在のところ取り入れていない。</p> <p>(4) 内部質保証の方針によってサイクルを定め、実施している。ただし、評価の結果をまとめる時期と教育課程の内容を検討する時期との調整が難しく、ただちに反映できる状況にはなっていない。</p>				
<p>【根拠資料】 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
『履修ガイド 2024 人間総合学群』 p 15～18 「アセスメント・ポリシー（学修成果の評価に関する方針）」				
駒沢女子大学HP「内部質保証の方針」【 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/evaluation.html 】				

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	長所・特色

③および⑤	「2年終了時・4年終了時の学修到達度確認」は、導入後現在まで安定的に点検評価を行い、その報告書をもとに各学類・専攻で教育内容の見直しに役立てている。特に、2年次と4年次を比較することにより、効果的に達成された目標とそうでないものを明確化できる点がすぐれている。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	
「2年終了時・4年終了時の学修成果の確認」内部質保証委員会提出資料	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
⑥ 評価の視点（2）	教育課程の自己点検において、学修到達度の確認を中心に行っているが、それ以外の資格取得状況等の要素は考慮されていない。
⑥ 評価の視点（3）	教育課程の自己点検において、外部の視点を取り入れる面が欠けている。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既の実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
⑥ 評価の視点（2）	資格取得状況や進路状況なども含めて、DPを達成しているかの総合的な確認となるディプロマ・サプリメントを導入し、教育課程の自己点検にフィードバックさせていくことを内部質保証委員会に提案し検討していく。
⑥ 評価の視点（3）	教育課程の自己点検の際に外部の視点での評価を取り入れることは、以前住空間デザイン学類で実施したことがあるが、定期的なものとはなっていない。学群として方法を確立させる。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準 4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを定め、大学のホームページに公表するとともに、「履修ガイド」の冊子でも全学生に配付し周知している。また、それぞれのポリシーの内容については、「教育指針に関する検討委員会」において定期的に確認を行い、必要に応じて修正を図っている。</p> <p>(2) アセスメント・ポリシーに従って、適切に評価している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
<p>「教育研究上の目的・方針 ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー/アセスメント・ポリシー」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html</p>				
<p>「ディプロマ・ポリシー/カリキュラム・ポリシー/アセスメント・ポリシー」 履修ガイド 2024（人間健康学部）2～10 ページ</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・ 授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・ 各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。	A

			<ul style="list-style-type: none"> ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定。 	
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 学習成果の達成につながるように、カリキュラム・ポリシーに従って適切な教育課程を編成・実施している。各授業科目の位置づけや到達目標については、カリキュラムツリーとカリキュラムマップで明確化している。カリキュラムマップの内容は、各科目のシラバスに学修指針として記載されている。授業科目の年次・学期配当は、カリキュラム表として明示している。学生の学習時間を考慮し、1 学年において履修できる単位数は 46 単位以下と定めている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
<p>根拠資料名</p>				
<p>「カリキュラム・ポリシー/カリキュラムツリー/カリキュラムマップ/カリキュラム」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-tree_healthy.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_01.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_02.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/healthy/curriculum.html</p>				
<p>「カリキュラム・ポリシー/カリキュラムツリー/カリキュラムマップ/カリキュラム」 履修ガイド 2024 (人間健康学部) 4～5 ページ, 31～51 ページ</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	<p>課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。</p>	(1)	<p>授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。</p>	A
		(2)	<p>I C T を利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。</p>	B

		(3) 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。 ※ 具体的な例 ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。	A
--	--	--	---

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

- (1) 授業形態や授業方法は、カリキュラム・ポリシーに基づいている。また、その内容が栄養士法施行規則に定める管理栄養士養成施設としての要件を満たしていることを、毎年自己点検している。さらに、カリキュラム・ポリシーの記載に従って、2年終了時および4年終了時に「学修到達度確認表」を用いて期待された効果が得られていることを確認している。
- (2) 遠隔授業は、補講の場合に限り半期15回の授業中に2回まで認められている。現状では、補講の場合であっても対面授業を優先しており、遠隔授業を行う頻度は極めて少ない。そのため、組織として方針を定めたり方法を工夫したり、その効果を検証したりはしていない。本学科においては、対面授業よりも遠隔授業の方が教育効果の大きい授業科目があるとは考えていない。そのため今後も可能な限り対面授業を行うように努める。
- (3) 各科目のシラバスには、必要十分な情報が記載されている。授業内課題のフィードバックの方法についても記載されている。

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

「カリキュラム・ポリシー」 <https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/curriculum-policy.html>

「健康栄養学科学修到達度確認表/カリキュラム・ポリシー」
履修ガイド2024（人間健康学部）3～5ページ

【管理栄養士（学校用）】自己点検表（2024年度）

各授業科目のシラバス

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	C

		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 成績評価や単位認定については、アセスメント・ポリシーに従って校正・公平に実施している。 (2) 成績評価や単位認定の基準や手続きについては、ホームページやシラバスへの記載ならびに履修ガイド(冊子)への記載によって学生に明示している。 (3) 本学入学前に他大学等で取得した単位や能力を認定する制度や規則は存在しないため、行っていない。 (4) (5) ディプロマ・ポリシー、学則および学位規程に従って、学内の所定の手続きにより適切に学位を授与している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
<p>「ディプロマ・ポリシー/アセスメント・ポリシー」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html</p>				
<p>「ディプロマ・ポリシー/アセスメント・ポリシー」履修ガイド 2024 (人間健康学部) 2 ページ, 7~10 ページ</p>				
<p>「成績評価/試験」履修ガイド 2024 (人間健康学部) 18~26 ページ</p>				
各授業科目のシラバス				
<p>駒沢女子大学 学則 第 32~34 条 駒沢女子大学 学位規程</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
		(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A
		(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 学習成果の把握や評価を行うための基本的な考え方は、アセスメント・ポリシーとして明確に掲げている。 (2) 上記(1)の内容は、ディプロマ・ポリシーに準拠して規定されている。 (3) 2 および 4 年次終了時にクラス担任の教員が、学修到達度確認表を用いて学修到達度の確認を行っている。この報告書では学修到達度の確認に留まらず、「今後の課題」や「課題・問題点に対する改善策」についても記載して、学科教員で共有するシステムとなっている。</p>				

<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>
<p>根拠資料名</p>
<p>「ディプロマ・ポリシー/アセスメント・ポリシー/カリキュラムマップ」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/diploma-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/assessment-policy.html https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_01.pdf https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/pdf/c-policy/c-map_healthy_02.pdf</p>
<p>「ディプロマ・ポリシー/健康栄養学科学修到達度確認表/アセスメント・ポリシー/カリキュラムマップ」 履修ガイド 2024（人間健康学部）2～3 ページ，7～10 ページ，48～51 ページ</p>
<p>学修到達度確認報告書</p>

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。	A
		(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	A
		(3)	外部の視点や学生の意見 を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	C
		(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	A

〔**現状**〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

- (1) 「駒沢女子大学内部質保証の方針、基本的な考え方及びシステムの体制」の中で明確にしている。
- (2) 学修到達度確認報告書や、管理栄養士国家試験の全国統一模試の結果、管理栄養士国家試験の合格率、フードスペシャリストや専門フードスペシャリスト資格試験の合格率などの、適切な情報に基づいている。
- (3) 現状は行っていない。今後、必要性について慎重に検討する。
- (4) 学科会を中心として、給食関連科目や公衆衛生学、微生物学等の授業科目の開講年次や単位数を変更するカリキュラム改正案を作成した。2025年度からの運用を目指し、教授会および理事会の承認を経て、東京都を通じて文部科学省と関東信越厚生局に届け出済みである。

<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>
<p>根拠資料名</p>
<p>「内部質保証の方針、基本的な考え方およびシステムの体制（大学）」 https://www.komajo.ac.jp/uni/guidance/evaluation.html</p>

2024 年度第 3～5 回学科会議事録
令和 6 年度第 6 回人間健康学部教授会議事録
学校法人駒澤学園理事会（令和 6 年 10 月 25 日）議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準 4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価 A
--	-----------

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	達成すべき学習成果を明確にし、教育・学習の基本的なあり方を示しているか。	(1)	学位授与方針において、学生が修得すべき知識、技能、態度等の学習成果を明らかにしているか。また、教育課程の編成・実施方針において、学習成果を達成するために必要な教育課程及び教育・学習の方法を明確にしているか。	A
		(2)	上記の学習成果は授与する学位にふさわしいか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 2018 年度の看護学部設置時カリキュラム最後の 4 年生及び 2022 年度以降の新カリキュラムの 1～3 年生が並走した年度であった。看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに則り、指定規則の内容を踏まえた上で、本学部の教育課程を明確にしている。また、本学は禅の教えを基盤とした建学の精神及び女子大学という特徴から看護学部の教育目的を明確にし、アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー等を設定している。特に、看護実践者の育成の観点から、学生の看護実践力の強化を目指し、看護教育課程の看護学科学修到達度確認表を用いて、2 年次及び 4 年次に学習成果を確認している。また、各学年に配置している臨地実習において看護教育の技術項目と到達度を随時確認し、実践力向上を図っている。</p> <p>(2) (1) に示した看護学科学修到達度確認表及び看護教育の技術項目と到達度、4 年間の成績を指標として学習成果を評価し、学位授与にふさわしいか否かを適切に判断している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページ URL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
旧カリキュラム：看護学部履修ガイド 2021 P1～10、新カリキュラム：看護学部履修ガイド 2022～2024 P1～10				
ホームページ看護学部看護学科 URL https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/nursing/feature.html 看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン https://www.mhlw.go.jp/kango_kyouiku/_file/1.pdf				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	学習成果の達成につながるよう、教育課程の編成・実施方針に沿って授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・授与する学位と整合し専門分野の学問体系等にも適った授業科目の開講。 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。	A

			<ul style="list-style-type: none"> ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当及び学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間及び単位の設定。 	
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 看護学部の教育目的は「人間性豊かな質の高い看護実践能力を備えた看護実践者を育成する」ことである。そこで、科目区分を「教養教育科目」「専門基礎科目」「専門科目」の3つに分類している。教養教育科目は、豊かな人間性、幅広く深い教養、高い倫理観、社会性、コミュニケーション力を身につけることができる科目を1・2年次に配当している。また、専門基礎科目は、医療に関連する基礎的知識を修得できる科目を1・2年次に配当している。専門科目は、看護実践に必要な知識・技術を修得できる科目を1年次から4年次にかけて科目を配当している。学年進行に即して、①具体的から抽象的へ、②単純から複雑へ、③優しいものから難しい内容へ、④全体的概要から部分へと深められるようにしている。この過程は、カリキュラムツリーおよび各科目のカリキュラムマップにより可視化している。このように、教育課程を体系的に編成している。</p> <p>(2) (1)の学修成果を評価する視点として、大学レベル・教育課程レベル・授業科目レベルのアセスメントポリシーを明確にしている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
<p>旧カリキュラム：看護学部履修ガイド 2021 P1～10、P36～47 新カリキュラム：看護学部履修ガイド 2022～2024、P1～10、P36～39</p>				
<p>看護学部看護学科 学びの概要 https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/nursing/feature.html 看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン https://www.mhlw.go.jp/kango_kyouiku/_file/1.pdf</p>				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	<p>課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっているか。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っているか。</p>	(1)	<p>授業形態、授業方法が学部・研究科の教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果及び教育課程の編成・実施方針に応じたものであり、期待された効果が得られているか。</p>	A
		(2)	<p>I C Tを利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。</p>	A

		<p>(3) 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。</p> <p>※ 具体的な例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。 	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>			
<p>(1) 学修内容の質を担保し最も効果的に行えるように、履修すべき学年に授業科目を配当している。各科目のシラバスに記載されている到達目標・評価基準と方法、出席状況に基づき、また GPA バランスを考慮しながら科目担当教員が成績を評価している。殆どの学生が到達目標に到達している。但し、学修指導を丁寧に実施していたが、2 年次生 91 名のうち 3 年科目履修が可能な学生数が 72 名となった。</p> <p>(2) コロナ感染症の 5 類移行後、対面を中心とした授業展開の 2 年目である。ICT の利用は、電子教科書を導入し 3 年目となり、学生が個人のデバイスを用いて、教科書の事例検討や必要な知識をタイムリーに確認する等、効果的に活用している。また、臨地実習前の履修科目において、患者の健康障害の特徴に合わせた看護を考えるために、教育用電子カルテの導入や高機能モデル人形を用いたシミュレーション教育を展開しており、よりリアリティのある演習を実施している。</p> <p>(3) 必修英語については、事前に英語クラス分けテストを実施し、学力レベルに応じた授業を行っている。自己学習時間が確保できるように 1 単位の時間数を検討し、新カリキュラムでは学生が学修時間の確保ができるように時間割を作成している。特に、授業区分が演習となっている科目については、各科目の課題を学生が効果的に進められるように、科目間で課題提出時期等の調整を行っている。さらに、学生の学力を鑑み、科目間の調整会議を実施し、学生の理解促進のための情報共有を行っている。</p> <p>1 年次から 4 年次まで段階的に配当している臨地実習は、単純から複雑へと学生の理解度・到達度の確認をしつつ、各看護領域の実習要項に沿って段階的に展開している。また、実習途中や実習最終日には実習評価面接を行い、達成状況の確認及び今後の課題について学生と共有し、個々の課題を達成できるようにしている。履修状況、学修の理解度・達成度等に関する指導は、少人数での学年アドバイザー教員を担任として配置し有意義な学生生活や学修ができるように、科目担当者と連携し指導助言を行っている。</p>			
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページ URL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>			
<p style="text-align: center;">根拠資料名</p>			
<p>Komajo ポータルサイトからアクセスできる各科目のシラバス</p>			
<p>看護学部看護学科カリキュラム https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/nursing/curriculum.html</p>			
<p>旧カリキュラム：看護学部履修ガイド 2021 P13～34、P45 新カリキュラム：看護学部履修ガイド 2022～2024 P13～34、P45、 実習要項（地域ふれあい実習、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ、成人看護学実習（急性期）（慢性期）、母性看護学実習、小児看護学実習、精神看護学実習、在宅看護学実習、看護学統合実習、公衆衛生看護学実習）</p>			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	成績評価及び単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。	A
		(2)	成績評価及び単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。	A
		(3)	既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。	—
		(4)	学位授与における実施手続及び体制が明確であるか。	A
		(5)	学位授与方針に則して、適切に学位を授与しているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
<p>(1)看護学部の教育目的に則り、各科目の到達目標の達成状況を評価するために、教員ガイド（授業・試験・成績評価）に基づき、客観的かつ厳格で、公正、公正に定期試験（試験・レポート・課題）を行っている。</p> <p>(2)看護学部履修ガイドに、成績評価及び単位認定に係る基準・手続き（成績評価に関する質問票について）を詳細に記載し、年度初めのオリエンテーションにおいて、学年ごとに具体的に説明を行っている。</p> <p>(3)学生から申請があった場合には、基準に則り適切に行う予定であるが、現時点では編入生はいないため実施していない。</p> <p>(4)看護学部のCPで定められた評価方法及び学修到達度確認表を用い、DPに掲げる能力が達成されているか、卒業に要する所定の単位を修得しているか否かを教授会にて審議し、卒業判定を行っている。</p> <p>(5)学位授与方針に即して、卒業要件を満たしている学生に対して、学位を授与している。</p>				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
教員ガイド（授業・試験・成績評価）				
旧カリキュラム：看護学部履修ガイド 2021 P1～9、大学4年間の履修内容と流れ P13～34、 新カリキュラム：看護学部履修ガイド 2022～2024 P1～9、大学4年間の履修内容と流れ P13～34、				
2025年3月5日看護学部教授会議事録（卒業判定）、2025年3月14日看護学部臨時教授会議事録（3年次配当科目を可能な学生判定）				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。	A
		(2)	学習成果を把握・評価する指標や方法は、学位授与方針に定めた学習成果に照らして適切なものか。	A

		(3)	指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
<p>(1) 各科目のシラバスに教育目標を明確に提示し、学位授与方針に関連づけた評価の基準と方法、ディプロマポリシー・学習指針のいずれに該当するかを明記している。</p> <p>(2) 大学の理念・目的に即して看護学部の各科目の学習成果が把握できるように、評価基準を明確にした上で学生に提示している。</p> <p>(3) 学生を更なる成長に導くために、各科目では診断的評価、形成的評価、総括的評価等を適宜用いて把握評価している。また、科目ごとに実施されている学生の授業評価アンケート結果は、授業に対する教員の評価を学生に公表している。本学部では、改善計画が必要な授業はなかった。また、看護学科学修到達度確認表による学生の自己評価等も活用し、学位授与方針の見直しを行っている。</p>				
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。				
根拠資料名				
Komajo ポータルサイトからアクセスできる各科目のシラバス				
看護学部看護学科カリキュラム https://www.komajo.ac.jp/uni/faculty/nursing/curriculum.html				
旧カリキュラム：看護学部履修ガイド 2021 P1～10 新カリキュラム：看護学部履修ガイド 2022～2024 P1～10、				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	教育課程及びその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	教育課程及びその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。	A
		(2)	課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。	A
		(3)	外部の視点や学生の意見 を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。	B
		(4)	自己点検・評価の結果を活用し、教育課程及びその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				

<p>(1) 各科目のシラバスに即して、学修状況や試験結果からシラバスを見直し、次年度のシラバスの修正に反映させている。また、学生が確実に時代の変化に対応していく資質・能力を積み上げることができるよう、各科目間の課題の提示時期や内容を共有すると共に、「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」を用いて演習及び実習における学生の経験の実際を確認し、科目間での調整を行っている。</p> <p>(2) 3年後期の開始直前及び4年終了時に「学修到達度評価」を行い、その変化を分析し、教育課程およびその内容、教育方法について点検している。また、2024年度の看護師国家試験合格率98.5%（新卒者：98.4%、既卒者100%）、保健師国家試験合格率100%、業種別就職状況（看護師での就職95.2%、保健師での就職0%、進学4.8%）から、学生たちの弱点を分析し、各科目の次年度の教育内容や方法、学生指導に反映させている。</p> <p>(3) 学生の意見を授業に取り入れられるように、講義毎のリアクションペーパーや授業評価アンケートを活用している。また、授業の質を高めるために実施している2回/年の公開授業のコメントシートは、客観性のある授業評価として活用している。</p> <p>外部の視点として、一般財団法人 日本看護学教育評価機構が実施している看護学分野別評価があるが、他大学の動向を見つつ今後検討していく。</p> <p>(4) (1)～(3)の自己点検・評価の結果を踏まえ、次年度の教育に反映できるように取り組んでいる。</p>
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>
<p>根拠資料名</p>
<p>看護師教育の技術項目と卒業時の到達度</p>
<p>2023年度看護学部学修到達度の評価結果について（報告）：看護学科3年生対象、2024年度4年終了時「学修到達度の確認」の報告書</p>
<p>Komajo Gide Book 2025 P61～66</p>
<p>一般財団法人 日本看護学教育評価機構（JABNE）リーフレット https://jabne.or.jp/file/JABNEleaflet.pdf</p>

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
<p>点検・評価項目番号</p>	<p>長所・特色</p>
<p>⑥-(2)</p>	<p>2年終了時及び4年終了時に「学修到達度評価」を行ったことにより、3年次後期から実施されている領域別臨地実習から4年次の看護学統合実習など臨地実習による実践を通じた学修の成果が大きいことが伺える。</p>
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
<p>根拠資料名</p>	
<p>2024年度卒業時看護学部学修到達度の評価結果について（報告）：2023年度看護学科2年終了時及び2024年度4年終了時「学修到達度の確認」の報告書</p>	

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
点検・評価項目⑥-(3)	外部評価を実施していない。
点検・評価項目⑥-(3)	学生の授業評価アンケートを行っているが、wi-fi環境が整ったにも拘らずアンケート回答率の低下が顕著である。アンケートが形骸化しており、新たな仕組みを構築する必要がある。

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に行っている場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
点検・評価項目⑥-(3)	将来的には、一般財団法人 日本看護学教育評価機構（JABNE）の分野別評価を受けることが望ましいと考えるが、時期は未定である。
点検・評価項目⑥-(3)	学生のヒアリングなども含めて、学生との意見交換の場を確立することや、学生の声が反映されていることをホームページ等で周知することが急務である。
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2) 大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3) 毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4) 5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5) 入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2025 / 入試委員会議事録				
2025 入学者選抜ガイド / 2025 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://www.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	C
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>入学定員 170 名の人間文化学類（日本文化専攻、人間関係専攻、英語コミュニケーション専攻）の 2024 年 4 月入学者は 60 名であった。この状況を改善する為に、2025 年度において、人間文化学類を共創文化学部国際日本学科、人間関係学科に変更したが、2025 年 3 月 29 日現在の国際日本学科の入学者は定員 60 名に対し、21 名であり、以前として厳しい状況が続いている。状況の悪化を防ぐため、2026 年度入学者選抜においては外国人留学生入学者選抜の試験回数を増やすだけでなく、高等学校や日本語学校への訪問を積極的におこなうなどして、定員確保に向けて、努めていく。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2025 年 3 月に開催された入試委員会において、各入学者選抜の入学者数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学者選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2) 大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3) 毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4) 5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5) 入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2025 / 入試委員会議事録				
2025 入学者選抜ガイド / 2025 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://www.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	C
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>入学定員 170 名の人間文化学類（日本文化専攻、人間関係専攻、英語コミュニケーション専攻）の 2024 年 4 月入学者は 60 名であった。この状況を改善する為に、2025 年度において、人間文化学類を共創文化学部国際日本学科、人間関係学科に変更したが、2025 年 3 月 29 日現在の人間関係学科の入学予定者は定員 60 名に対し、39 名であり、以前として厳しい状況が続いている。状況の悪化を防ぐため、2026 年度入学選抜においては外国人留学生入学選抜の試験回数を増やすだけでなく、高等学校への訪問や高校内でおこなわれる出前授業にも積極的に参加し、定員確保に向けて、努めていく。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2025 年 3 月に開催された入試委員会において、各入学選抜の入学人数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 大学案内作成時に、学類内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。</p> <p>(2) 大学案内作成時に、学類内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している</p> <p>(3) 毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。</p> <p>(4) 5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。</p> <p>(5) 入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2025 / 入試委員会議事録				
2025 入学者選抜ガイド / 2025 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://www.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	C
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2024年4月の人間総合学群4学類あわせての入学人数が、入学定員370名に対し210名であった為、心理学類については、共創文化学部心理学科とし、2025年度の入学人数選抜を実施した。その結果、2024年4月の心理学類の入学人数が58名であったのに対し、2025年3月29日現在の心理学科の入学予定者は定員80名に対し、61名となっている。入学予定者がほぼ昨年と同数である中、2026年度入学人数選抜においては外国人留学生入学人数選抜の試験回数を増やすだけでなく、全日制に加え、通信制高等学校へ通っている高校生に対しても、積極的に情報発信をし、定員確保に向けて、努めていく。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2025年3月に開催された入試委員会において、各入学人数選抜の入学人数や退学人数を確認し、問題がある場合には、次年度入学人数選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 大学案内作成時に、学類内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2) 大学案内作成時に、学類内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3) 毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4) 5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5) 入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2025 / 入試委員会議事録				
2025 入学者選抜ガイド / 2025 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://www.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	C
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2024年4月の人間総合学群4学類あわせての入学人数が、入学定員370名に対し210名であった為、観光文化学類については、観光文化学部観光文化学科とし、2025年度の入学人数選抜を実施した。その結果、2024年4月の観光文化学類の入学人数が45名であったのに対し、2025年3月29日現在の観光文化学科の入学予定者は定員60名に対し、46名となっている。入学予定者がほぼ昨年と同数ではある中、2026年度入学人数選抜においては外国人留学生入学人数選抜の試験回数を増やすだけでなく、インバウンドの影響もあり、多くのホテルで外国人従業員を積極的に雇っているため、日本語学校へも積極的に訪問をし、定員確保に向けて、努めていく。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2025年3月に開催された入試委員会において、各入学人数選抜の入学人数や退学人数を確認し、問題がある場合には、次年度入学人数選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 大学案内作成時に、学類内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2) 大学案内作成時に、学類内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3) 毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4) 5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5) 入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2025 / 入試委員会議事録				
2025 入学者選抜ガイド / 2025 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://www.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2024年4月の人間総合学群4学類あわせての入学人数が、入学定員370名に対し210名であった為、住空間デザイン学類については、空間デザイン学部空間デザイン学科とし、2025年度の入学人数選抜を実施した。その結果、2024年4月の住空間デザイン学類の入学人数が45名(定員60名)であったのに対し、2025年3月29日現在の空間デザイン学科の入学予定者は定員70名に対し、87名となっている。学部化して情報がより受験生に伝わりやすくなった為、入学予定者は大幅に増えたが、改組2年目においては、1年目よりも注目度がさがることが予想される。このような中、学部独自の来場型イベントを2024年度と同様おこなうなどして、次年度も定員確保に努めていく。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
入試委員会議事録				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2025年3月に開催された入試委員会において、各入学人数選抜の入学人数や退学人数を確認し、問題がある場合には、次年度入学人数選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。</p> <p>(2) 大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している</p> <p>(3) 毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。</p> <p>(4) 5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。</p> <p>(5) 入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2025 / 入試委員会議事録				
2025 入学者選抜ガイド / 2025 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://www.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	C
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2024年4月の入学人数は59名(定員80名)であったのに対し、2025年3月29日現在の健康栄養学科の入学予定者は42名となっている。このような中、年内入学人数選抜による入学人数をより多く確保する為、2025年3月に学科の入試委員と学校推薦型選抜(公募制)の選考方法を見直した。その結果、2026年度入学人数選抜からは、受験生の負担を軽減し、出願をしやすくするために、学校推薦型選抜選抜(公募制)【2025年11月実施予定】でおこなわれていた基礎テストを実施せず、志望理由書、面接、調査書を総合的に評価する選考方法に変更した。ただ、栄養系を希望する高校生自体がかなり減少している中、危機感を持った多くの大学がカリキュラム変更、名称変更、改組などをおこなっているため、本学も同様な取り組みをおこなっていかねば、さらに状況は悪化していくように思われる。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2026 入学人数選抜トピックスチラシ				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2025年3月に開催された入試委員会において、各入学人数選抜の入学人数や退学人数を確認し、問題がある場合には、次年度入学人数選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。</p>				

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

<p>有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>	
根拠資料名	

3. 課題・問題点

<p>理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。</p>	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

<p>「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。</p>	
点検・評価項目番号	改善策

	なし
〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。	
根拠資料名	

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	B

2024 年度（評価対象期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月） 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」を選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針は、少なくとも学位課程ごと（学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程）に設定しているか。	A
		(2)	学生の受け入れ方針は、入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像や、入学希望者に求める水準等の判定方法を志願者等に理解しやすく示しているか。	A
		(3)	学生の受け入れ方針に沿い、適切な体制・仕組みを構築して入学者選抜を公平、公正に実施しているか。	A
		(4)	入学者選抜にあたり特別な配慮を必要とする志願者に対応する仕組みを整備しているか。	A
		(5)	すべての志願者に対して分かりやすく情報提供しているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>(1) 大学案内作成時に、学科内で協議し、学生の受け入れ方針を設定している。 (2) 大学案内作成時に、学科内で協議し、求める学生像や高等学校で学習してほしい教科・科目をアドミッション・ポリシーで示している (3) 毎年入試委員会において、各入学者選抜の募集人員、日程、選考方法などを見直した上で、入学者選抜を実施している。 (4) 5月～9月に発行される入学者選抜ガイドや入学者選抜要項において、特別な配慮を必要とする方は出願前に入試センターに問い合わせるよう、周知し、事前相談をした上で、出願してもらえるような体制を整えている。 (5) 入学者選抜ガイドや入学者選抜要項を配付するだけでなく、本学ホームページにも同様の情報を掲載している。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
駒沢女子大学 駒沢女子短期大学 Guide Book 2025 / 入試委員会議事録				
2025 入学者選抜ガイド / 2025 年度入学者選抜要項				
ホームページ 入学者選抜情報 https://www.komajo.ac.jp/uni/admission/index.html				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	学士課程全体及び各学部・学科並びに各研究科・専攻の入学人数や在籍学生数を適正に維持し、大幅な定員超過や定員未充足の場合には対策をとっているか。	B
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2024年4月の入学者は74名(定員80名)であったのに対し、2025年3月29日現在の看護学科の入学予定者は71名となっている。このような中、年内入学者選抜による入学者をより多く確保する為、2025年2月に学科の入試委員と新たな選考方法を検討した結果、2026年度入学者選抜からは、受験生の負担を軽減し、出願をしやすくするために、学校推薦型選抜選抜(指定校制・公募制)【2025年11月実施予定】でおこなわれている基礎テストの内容を化学、生物のいずれかを選択できるように変更し、定員確保に努めていく。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				
根拠資料名				
2026 入学者選抜トピックスチラシ				

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいるか。	(1)	学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組み及び課題を適切に把握しているか。	A
		(2)	点検・評価の結果を活用して、学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組む、効果的な取り組みへとつなげているか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p>				
<p>2025年3月に開催された入試委員会において、各入学者選抜の入学人数や退学者数を確認し、問題がある場合には、次年度入学者選抜において、募集人員や選考方法の変更をおこなっている。</p>				
<p>〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。</p>				

根拠資料名
入試委員会議事録

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。

根拠資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等を記入してください。
根拠資料名

5. 「基準 5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S：極めて良好」、「A：良好」、「B：軽度な問題がある」、「C：重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

評 価 者

基準4 : 人間総合学群 学群長 三田 誠司
基準4 : 人間健康学部 学部長 西山 一朗
基準4 : 看護学部 学部長 高橋 泉
基準5 : 入試センター 所長代行 栗原 圭介

2024 年度 駒沢女子大学

「自己点検・評価シート」

第4期（評価対象期間：2024年4月～2025年3月）

基準4「教育・学習」、基準5「学生の受け入れ」

2025年3月31日

内部質保証委員会